

国 語

発行者			教科書の記号・番号	判型 総ページ数	検定済年
番号	名称	略称			
2	東京書籍	東 書◆	国語 701・801・901	B 5 1,042	令和2年
15	三省堂	三省堂◆	国語 702・802・902	B 5 1,055	
17	教育出版	教 出◆	国語 703・803・903	B 5 1,074	
38	光村図書	光 村◆	国語 704・804・904	B 5 1,000	

※「発行者 略称」欄にある◆は、「学習者用デジタル教科書」（学校教育法第34条第2項に規定する教材）の発行予定があることを示しています。

中学部 国語(聴覚障害特別支援学校)

	発行者	東書	三省堂	教出	光村
内容	<p>1 聴覚障害のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</p> <p>①聴覚障害の理解にかかわる記述があるもの。</p>	<p>☆☆☆ 3</p> <p>①1年「本で世界を広げよう 福祉・共生」では、高校2年生で聴力を失った著者が紹介する、ユニバーサルデザインに関する図書が示されている。(P181)</p>	<p>☆☆ 1</p> <p>①3年「小さな図書館」では、高校2年生で聴力を失った著者が紹介する、ユニバーサルデザインに関する図書が示されている。(P220)</p>	<p>☆☆☆ 3</p> <p>①2年「持続可能な未来を創るために」では、心のバリアフリーについての説明や、障害に関する新聞への投稿を題材としている。(P96-99)</p>	<p>☆ 0</p> <p>①該当なし</p>
	<p>2 聴覚障害への配慮を要する内容等について</p> <p>①言葉や音を聞き取る活動があり、学習活動に困難が想定されるもの。</p> <p>②インタビュー等、会話が主体となる活動があり、学習の際に特別な支援が必要であるもの。</p> <p>③方言や特徴的な言い回し等を多用し、読解の際に説明が必要であるもの。</p>	<p>★★★★ 32</p> <p>①1年「音声の働きや仕組み」では、アクセントとイントネーションについて示されており、取り扱う際に配慮が必要である。(P22)</p> <p>②1年「話を聞いて質問しよう」では、インタビューをする活動の際に補助的な手段が必要である。(P56)</p> <p>③3年「万葉・古今・新古今」では、特徴的な言い回しを多用した和歌の学習があり、読解の際に、説明が必要である。(P128-129)</p>	<p>★★★ 21</p> <p>①1年「音声のしくみとはたらき」では、日本語の音節に関する学習活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P34-35)</p> <p>②2年「情報探しの方法」では、インタビューをして調べる活動の際に、補助的な手段が必要である。(P284-285)</p> <p>③3年「論語」では、特徴的な言い回しを多用した学習があり、読解の際に、説明が必要である。(P132-133)</p>	<p>★★★ 24</p> <p>①1年「言葉の小窓1」では、日本語と英語の発音の違いに関する内容が示されており、取り扱う際に配慮が必要である。(P46)</p> <p>②2年「言葉の小窓1」では、会話における敬語のはたらきについて考える活動があり、補助的な手段が必要である。(P64)</p> <p>③3年「文体(文語体・口語体)・リズム」では、方言を用いた詩の学習活動があり、読解の際に説明が必要である。(P175)</p>	<p>★★★ 24</p> <p>①1年「情報を的確に聞き取る」では、話を聞いて必要な情報をメモを取る活動が示されており、取り扱う際に配慮が必要である。(P30)</p> <p>②2年「聞き上手になろう」では、友達にインタビューをする活動の際に補助的な手段が必要である。(P112-113)</p> <p>③3年「学びて時に之を習ふ」では、特徴的な言い回しを多用した論語の学習があり、読解の際に説明が必要である。(P28-30)</p>
構成上の工夫	<p>障害の状態に応じた事項、その他</p> <p>①聴覚の障害を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明しているもの。</p> <p>②学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されたもの。</p>	<p>①2年「ハトはなぜ首を振って歩くのか」では、ハトの歩く様子を写真や絵で視覚的に説明している。(P56-57)</p> <p>②各単元の最後に、「てびき」として、学習のポイントを枠囲みで簡潔に記している。(3年P22など)</p>	<p>①2年「平家物語」では、単元の最後に、物語の展開を図絵で視覚的に説明している。(P130)</p> <p>②各単元の最後に、「学びの道しるべ」として、学習のポイントを簡潔に記している。(3年P96-97など)</p>	<p>①2年「比喩・象徴」では、様々な表現方法を、表で視覚的に説明している。(P15)</p> <p>②各単元の最後に、「みちしるべ」として、学習のポイントを簡潔に記している。(3年P43など)</p>	<p>①2年「クマゼミ増加の原因を探る」では、図絵でクマゼミの一生を視覚的に説明している。(P44)</p> <p>②各単元の最後に、「学習の窓」として、学習のポイントを枠囲みで記している。(3年P24-25など)</p>
参考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり

	発行者	東書	三省堂	教出	光村
内容	<p>1 肢体不自由・病弱のある生徒が興味・関心をもって取り組むことができる単元等について</p> <p>①学校生活や社会生活に身近な題材を取り上げているもの。</p> <p>②肢体不自由や病弱の理解に関わる記述等があるもの。</p>	<p>☆☆☆ 13</p> <p>①1年「案内や報告の文章を書こう」では、学校行事の案内や報告の文章を書く活動を取り上げている。(P148-149)</p> <p>②1年「風を受けて走れ」では、義肢装具士と義足ランナーに関する内容を取扱っている。(P172-179)</p>	<p>☆☆☆☆ 18</p> <p>①1年「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」では、地域の人々に防災意識を高めてもらうための活動を取り上げている。(P142-143)</p> <p>②2年「自立とは「依存先を増やすこと」では、脳性まひのある医師の記事を取り上げ、共生社会について考えをまとめる内容を取扱っている。(P146-149)</p>	<p>☆☆☆☆ 15</p> <p>①2年「SNSから自由になるために」では、SNSの上手な活用方法に関する内容を取り上げている。(P84-85)</p> <p>②2年「夢を跳ぶ」では、下肢に障害のあるパラリンピアンを取扱っている。(P72-76)</p>	<p>☆☆☆☆ 16</p> <p>①2年「メディアを比べよう」では、身の回りにおけるメディアの特徴を比べる活動を取り上げている。(P60)</p> <p>②1年「『不便』の価値を見つめ直す」では、施設のデザインについて、バリアフリーの内容を取扱っている。(P179-P180)</p>
	<p>2 肢体不自由・病弱への配慮を要する内容等について</p> <p>①上肢の操作を伴うため、学習活動に困難が想定されるもの。</p> <p>②病気の治療による運動制限から、経験できない体育的活動を取扱った題材が取り上げられているもの。</p> <p>③各学年の生徒数が少ないため、集団活動が含まれるなど取扱いが困難と思われる内容が取り上げられているもの。</p>	<p>★★★★ 44</p> <p>①1年「本のポップを作ろう」では、本を紹介するためのポップを作成する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P182)</p> <p>②2年「卒業ホームラン」では、少年野球チームを題材としており、取り扱う際に配慮が必要である。(P72-85)</p> <p>③3年「読書会を開こう」では、4-6人のグループを作って話し合う活動があり、学習集団の規模によっては、取り扱う際に配慮が必要である。(P94)</p>	<p>★★★★ 45</p> <p>①3年「情報の信頼性を確かめて考えを発信する」では、社会生活における課題について、自分の考えをまとめたポスターを作成する活動があり、取り扱う際に配慮が必要である。(P150-152)</p> <p>②3年「漢字一字で表現すると」では、スポーツ選手の努力を題材としており、取り扱う際に配慮が必要である。(P137)</p> <p>③2年「互いの考えを尊重しながら話し合いを深める」では、少人数で話し合うグループディスカッションの活動があり、学習集団の規模によっては、取り扱う際に配慮が必要である。(P34-37)</p>	<p>★★★★ 46</p> <p>①2年「脚本で動きを説明する」では、小説を脚本に書きかえる活動があり、上肢の操作性等から、取り扱う際に配慮が必要である。(P88)</p> <p>②2年「夢を跳ぶ」では、病気を克服したパラリンピアンによるスポーツの経験を題材としており、取り扱う際に配慮が必要である。(P72-76)</p> <p>③3年「ビブリオバトルで本の世界を広げよう」では、参加者で議論をする活動があり、学習集団の規模によっては、取り扱う際に配慮が必要である。(P54-55)</p>	<p>★★★★ 41</p> <p>①1年「読書を楽しむ」では、本を紹介するためのポップを作成する活動があり、上肢の操作性等から、取り扱う際に配慮が必要である。(P82)</p> <p>②1年「本の中の中学生」では、陸上の長距離走を題材としており、取り扱う際に配慮が必要である。(P84-85)</p> <p>③3年「全体会議を開く」では、グループに分かれて話し合う活動があり、学習集団の規模によっては、取り扱う際に配慮が必要である。(P138-139)</p>
構成上の工夫	<p>障害の状態に応じた事項、その他</p> <p>①学習のポイント等が大きな文字や枠囲み等で簡潔に記されていたり、各単元等のまとまりが記されていたりするもの。</p> <p>②外出等の社会的経験の不足を補えるように、写真、図絵等で視覚的に説明されているもの。</p> <p>③ページをめくる等の動作が難しい場合があるため、見開きページで学べるようになっていくもの。</p>	<p>①各単元の最後に、「言葉の力」として学習のポイントを枠囲みで簡潔に記している。(1年P40など)</p> <p>②2年「平家物語」では、本文の内容を想起させる絵巻物の写真や人物関係の図を示している。(P128-130)</p> <p>③3年「おくのほそ道」では、旅の行程を示した地図を、見開きページで大きく示している。(P137-138)</p>	<p>①各単元の最後に、「学びの道しるべ」として、学習のポイントをまとめて記している。(1年P28など)</p> <p>②2年「壁に残された伝言」では、実際に資料館に展示されている壁の写真等を示している。(P77、P81)</p> <p>③3年「複数の情報を関連づけて考えをまとめる」では、提示された資料から課題を見つけ、考えを深めるまでの活動の流れを、絵を用いて見開きページで示している。(P140-141)</p>	<p>①1年「森には魔法つかいがある」では、冒頭に「学びナビ」、最後に「みちしるべ」として、学習のポイントを記している。(P86-87、P97)</p> <p>②3年「ビブリオバトルで本の世界を広げよう」では、図書館で開催されたビブリオバトル大会の様子やチラシを写真で示している。(P55)</p> <p>③2年「学びのチャレンジ」では、問題の資料「生徒会役員選挙告示の下書き」の図を、見開きページで示している。(P212-213)</p>	<p>①各単元の最後に、「学習の窓」として学習のポイントを枠囲みで簡潔に記している。(1年P28など)</p> <p>②1年「言葉をもつ鳥、シジュウカラ」では、シジュウカラや森に設置された巣箱の写真を示している。(P126-127)</p> <p>③3年「三年間の歩みを振り返ろう」では、三年間を振り返って冊子にまとめる流れを、絵を用いて見開きページで示している。(P204-205)</p>
参考	神話や伝承を知り、日本文化や伝統に興味を持たせる資料	あり	あり	あり	あり
	防災や自然災害の扱い	あり	あり	あり	あり
	オリンピック・パラリンピックの扱い	あり	あり	あり	あり

